

クルーズサマリー

1. 航海情報

- 1) 航海番号・使用船舶：NT13-07/なつしま
- 2) 航海名称：平成 25 年度研究船利用公募「なつしま/ハイパードルフィン」調査潜航
- 3) 首席研究者：吉田尊雄(独立行政法人 海洋研究開発機構)
- 4) 研究課題者と課題名：
課題 1:「シマイシロウリガイ共生菌の伝達・分配様式の解明」提案者：生田 哲朗 (海洋研究開発機構)

課題 2:「化学合成系水生生物飼育技術の高度化を目指したシロウリガイ生育環境調査とサンプリング」提案者：小西 正朗 (北見工業大学)

課題 3:「次世代の最先端海底地震・傾斜変動観測に向けた技術開発」提案者：塩原 肇 (東京大学 地震研究所)

- 5) 航海期間：2013 年 4 月 2 日-4 月 10 日
- 6) 出港地-帰港地の情報：JAMSTEC 岸壁 (2013 年 4 月 2 日)- JAMSTEC 岸壁 (2013 年 4 月 10 日)
- 7) 調査海域名：相模湾初島沖・房総沖
- 8) 調査マップ：航跡図(図 1)
- 9) 乗船研究者：生田 哲朗、本郷 悠貴、野牧 秀隆、高木 善弘、長井裕季子、福場 辰洋、柳川勝紀、長野由梨子、西 真朗、平山 仙子、志鷹 和奈、伊藤 亜妃 (海洋研究開発機構、海洋・極限環境生物圏領域)、小西 正朗 (北見工業大学)、塩原 肇 (東京大学)、多米 晃裕 (マリンワークジャパン)、杉村 誠 (新江ノ島水族館)、南澤 智美 (日本海洋事業(株))

2. 実施内容：

本航海では、3 課題の相乗り航海を実施した。それぞれの課題目的を実施するために、相模湾初島沖及び房総沖に 5 潜航 (9 日間の調査) を行った。航海中にシロウリガイ類、シンカイヒバリガイ類、チューブワーム類をサンプリング

し、採泥を行った。詳しい解析は、今後行う予定である。また、最先端の広帯域地震傾斜同時観測用及び超深海域用の海底地震計の設置を行った。

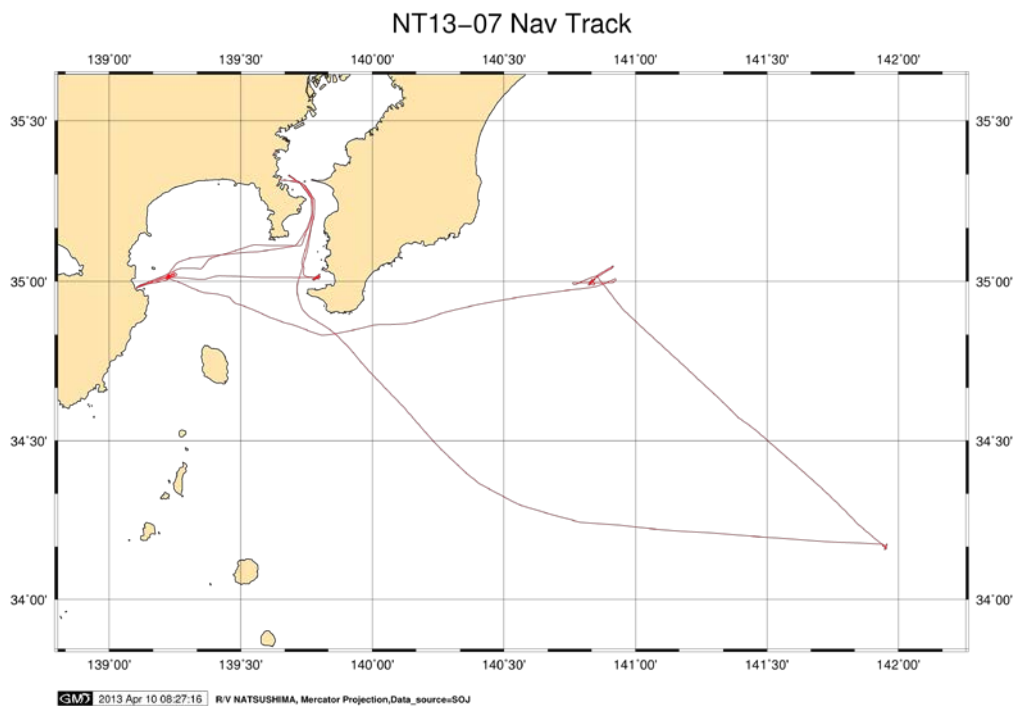


図1 NT13-07の航跡図